

協働学習  
同時進行型

実践タイトル 生徒の考えを拡大提示し、皆で議論・分類

本時のねらい

今まで学習してきたことをもとに、いろいろな植物を仲間分けして、植物の特徴について自らの考えをまとめ、表現する。そこで実際の植物を観察したり、画像を見て、その分類した理由を電子黒板を使い発表させることで生徒の考えをまとめ、学級での知識の共有を行う。

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

生徒が気がついた植物分類カードの植物の特徴について、電子黒板を使い拡大提示し、書き込み説明することで、生徒自身の知識を整理するとともに、説明を考え発表することで表現力を身に付けさせる。

静止画

多種類の植物画像を用い、カード形式で活用することで、それまでに学習した知識をもとに、実際に分類を体験することができる。

参考にしてほしいポイント

植物の特徴を見つけるときは、いくつかの植物を比べてみて似ているところや違うところを見つける活動を行っている。その際、今回のように実物も見ながら、植物(分類カード)も見て、植物の特徴を発見させている。多種類の植物をたくさん教室に持ち込むことは物理的に難しいが、カード形式にすれば、班の中で仲間と話し合いながら分類することも容易である。またそのカードを電子黒板で拡大提示し、その特徴からどうしてそのように分類したのか発表することで、生徒の力をさらに引き上げることができると思われる。

学習の流れ(分)	主な学習活動と内容	ICT機器・教材、コンテンツ等
本時の展開	0 導入	○植物の仲間分けの専門用語などについて、前時までの学習内容の確認。 ・教室に持ち込んだ植物や植物画像カードを見る。
	15	○今日の授業のテーマ、流れについて確認。
	45 展開	○配られた植物カードを、今までに学習した知識をもとに仲間と話し合い分類していく。 ○できあがった植物分類カードの分類について、どうしてそのように分類したのか電子黒板を使い発表する。
50 まとめ	○電子黒板に映った植物カードを見て、分類の規準について再度確認する。	・電子黒板



写真1: さまざまな植物の提示



写真2: 植物カードの分類



写真3: 分類した理由を説明

児童生徒の反応

実際の植物を見たり、たくさんのカードで植物を見るのが楽しかった。仲間と話し合いながら分類していくので、今まで忘れていたことも思い出せてよかった。電子黒板を使った友だちの発表はおもしろくて聞くのが楽しい。友だちの発表を聞いて、自分が分かっていなかったところが確認できた。

活用効果

評価の観点	科学的な思考・表現
具体的変容	それまでは、それぞれの植物における特徴の学習であったが、植物どうしを比較し、それまでの知識を活用し仲間と話し合い分類することで思考が深まっていた。また電子黒板を使った生徒の発表は、見ている生徒も興味深く聞くことができ、表現力や情報を取り入れる力が身に付いたと思われる。

実践の手応え

グループのメンバーでカードを動かしながら効果的な話し合いが行われたと想像できる。植物カードにしても、電子黒板による発表にしても、生徒の活動が多いことで、生徒たちはより積極的に学習することができた。また電子黒板を使った発表は、小さなカードを大きく提示することで、仲間にも分かりやすく、発表している生徒、聞いている生徒の両方によい影響があった。分類の作業のとき、ワークシートのようなものに入らせる活動も今後は取り入れていきたい。